

## 分断都市・脆弱都市から多様性が尊重される包摂型レジリエント都市へ 第11回 東アジア包摂都市ネットワーク(EA-ICN)・ワークショップ プログラム

### ◆23日

9:00~9:20 受付・参加者登録

9:20~09:30 歓迎の挨拶：大阪公立大学都市科学・防災研究センター所長 重松 孝昌

総合司会：大阪公立大学 野村 恭代

09:30~11:30:

Session 1：各都市における社会的弱者の現状と支援政策や実践経験の理解と共有（20分×4本）【同時通訳：ハイブリッド】

コーディネーター：国立台湾大学(National Taiwan University) 黄麗玲(Liling Huang)

1. 香港のコロナ禍におけるホームレスの人びとのリスクと機会(The Risks and Opportunities of Homeless in Hong Kong under the Coronavirus Outbreak)、SoCO (Chung Yin Chan)
2. 元住民の観点から見た反貧困対策としての所得ミックス賃貸住宅：台北市社会住宅団地の建替え事例 (From original tenants' perception to examine mixed-income as an anti-poverty solution—a renovated social housing community in Taipei、前 OURs 社區規畫師 陳涵光 彭楊凱(CHEN, HAN-KUANG, Former community staff, The Organization of Urban Re-s)
3. 居住弱者層への居住支援事業の実践経験の報告(Moving vulnerable persons from substandard accommodation to suitable housing: achievement and challenges)、ソウル住宅都市公社龍山住居安心総合センター イ・ウンチョン((SEOUL HOUSING WELFARE CENTER-YONGSAN, LEE EUN CHOUNG)
4. コロナ禍で浮かび上がった女性・シングルマザーの貧困～シンママ大阪応援団がこの2年半やってきたこと～、シンママ大阪応援団 寺内順子

11:30~13:30:

Session 2：災害に強い都市とレジリエンス（20分×4本）【同時通訳：ハイブリッド】

コーディネーター：大阪公立大学 生田 英輔

1. 香港のコロナパンデミック期間中のホームレス支援におけるレジリエンス(Resilience in Homeless Services during COVID-19 in Hong Kong)、CCHA (Olivia Chan)
2. 台湾のコロナ19下における3段階警報に対するホームレスの情緒、知覚、及び行為：行動研究の事例(The Attitude, Perception, and Behavior toward COVID-19 Pandemic of the Homeless during the Lockdowns: Findings from A Participatory Research in Taipei, Taiwan)、Li jia ting/Homeless Taiwan Association/social worker(李佳庭/ 台湾芒草心慈善協會社工師)、Yueh WANG/Homeless Taiwan Association/Volunteer(王悦/ 台湾芒草心慈善協會志工)、Cheng Wei-Chunan / National Changhua university of education/ Ph. D. Candidates(程威銓/彰化師範大學/博士候選人)
3. ドニドン住民のコロナ19への対応経験と課題(Chokbang residents' experience and issues for supporting under COVID-19: the case of Donui-dong)、ドニドン住民協同会 キム・ソニ(Donuidong Residents Organization, KIM SUNHEE)、チェ・ボンミョン(Donuidong Residents Organization, CHOI BONGMYUNG)
4. 子ども、親、社会と作る「レジリエントな未来」、出水真由美 (ママコミュ！ドットコム 代表)

▲ 会場：大阪公立大学学術情報総合センター文化交流室

大阪市大阪市住吉区杉本 3-3-138 (学術情報総合センター 1階)

現地視察及び事例報告(16:30~18:00)

(案内：多文化ふらっと)

報告：(30分×1本) および現地視察【逐次通訳】

IKUNO コーライズパーク(旧御幸森小学校)

「校跡地を活用した多文化共生のまちづくりに挑戦する」

NPO 法人 IKUNO・多文化ふらっと 理事・事務局長 宋悟

### ◆24日

現地視察及び事例報告② 9:30~12:00

報告：(30分×1本) および現地視察

「地域の継承語教室が社会にもたらすもの～ようこそルーツ語教室へ～」、藪田直子(大阪成蹊大学)

▲ 会場：八尾市立安中人権コミュニティセンター

14:00~16:00 : Session 3 :都市におけるダイバーシティと難民・移住者等外国籍住民との共生の課題 (20分×3本) 【逐次通訳】

コーディネーター：八尾市・包摂都市ネットワークジャパン代表 網中 孝幸

1. 学校空間の教育及び社会福祉空間としての転用例について-台北市忠義小学校を事例に(From shrinking school to complex park with education and local welfare in low birthrate society: pioneer case from Zhongyi Elementary school)、台北市忠義國小学校 校長 黃志勇(Jhieh-Yong HUANG, President, Taipei Municipal Zhongyi Elementary school)
2. 移住女性の自立のための Talk-to-Me による活動、コロナ 19 その後(Activities of Talk-to-Me for migrant women's self-reliance after COVID-19)、Talk-to-Me ペララ イレシャ(TALKTOME, PERARA IRESHA)
3. 「浜松市在住フィリピン人支援と多文化共生社会の実現に向けたイリピノナガイサの実践」、NPO 法人フィリピンナガイサ 松本義一

◆25日

現地視察及び事例報告③ 9:30~12:00

報告：(30分×1本) および現地視察(堺市の事例：泉北ニュータウン)

(案内：一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団：小学校跡地のコミュニティスペースの設置運営。みんなの公共冷蔵庫(食品ロス対策、生活困窮者への支援)の運用等)

Session 4: 14:00~16:00 :都市ネットワーク会議

コーディネーター：世宗大学校(Sejong University) 金秀顯(Kim Soo-hyun)

報告：(20分×4本) 【同時通訳：ハイブリッド】

1. 軍人賃貸住宅の跡地を活用したフードバンクと共有スペース(From vacant veteran home to food sharing park) ゼンジョン(臻信祥)社会福祉協会理事長 ファン・フジョン(方荷生、He-sheng Fang)
2. デジタル格差と排除されないスマート包摂都市城東の事例(Beyond digital divide and alienation: the case of smart-inclusive policy in Seongdong-gu, Seoul)、ソウル市城東区スマート包摂都市局長(Director of Smart Embracing City) ムン・ソンス(MOON SUNGSU)
3. インターカルチュラル・シティ浜松の取組  
～誰もが活躍できる多文化共生都市・浜松の実現に向けて～、浜松市企画調整部国際課 主幹 古橋広樹
4. 大阪市生野区の学校跡地を核とした異和共生のまちづくり、大阪市生野区長 筋原章博  
会場：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A4棟 402室

◆26日 インクルーシブシティ研究会・第2回年次研究大会【逐次通訳：ハイブリッド】

会場：大阪公立大学杉本キャンパス学術情報センター1階文化交流室

【1】10:00-12:00

コーディネーター：九州大学 コルナトウスキ・ヒュラルド

1. SJS (James Leung) The Challenges and Insights of Service Development for the Homeless in Hong Kong during the 5th Wave COVID Pandemic
2. 中山 徹・湯山 篤 (大阪公立大学) 「日本における居住不安定者層に対する居住支援の現状と政策的課題」
3. 社会福祉が社会住宅といかに連携できるか：空間及びケアを対象にした分析  
How social welfare can be connected with social housing: an analysis of space and care targets  
リュウ・ウェイチェン(台湾社会福祉総盟研究員 劉威辰、Wei-Cheng Liu, research fellow, Taiwan Social Welfare League)
4. 地域共同体開発コンフリクトと青年活動(Community Re-building Activities Beyond Social Conflicts in Changwon, South Gyeongsang, Korea)、ソウル大学校環境大学院 チェ・ヒジン(Heejin Choi)
5. 孫琳(同志社大学) 「イコール・フットイングから社会福祉法人の存在意義を問い直す」
6. 市道 寛也 (大阪市立大学) 「多様な人々を育む地域活動の活力の要因を探る一解労働者が集住していた大阪港周辺地域の歴史を起点として」

【2】13:00-16:00

コーディネーター：広島文教大学 川瀬瑠美

1. Geerhardt Kornatowski (九州大学) 「Inclusivity through care infrastructures: A focus on transitory workers in the Fukuoka city-region」
2. 坂本 知壽子 (大阪公立大学) 多文化家庭の子どもたちへの日本語教育支援
3. 楊 慧敏 (同志社大学) 「外国にルーツをもつヤングケアラーの支援体制に関する研究」
4. 居住貧困とキャリア開発:台湾の青年への研究  
Housing poverty and career development: a study on young adults in Taiwan  
國立台灣大學建築與城鄉研究所 黃麗玲、劉恩英、朱穎芃、菅沼毅、曾柔慈
5. 公共遊休空間を活用した官民協力 空間福祉：ソウルハウジングラボ  
(Public-Private Partnership's Place-based Welfare using unused public space; through the case of the Seoul Housing Lab)、ソウルハウジングラボセンター長 キム・ミョンフン

# プログラム

## ワークショップ：各都市における都市包容性にかかわる現状理解と実践経験の共有（23-25日）

本ワークショップでは、現地視察と並行し、以下の4つのSessionテーマに関連した各都市の関連施策及び民間実践の報告と自由討論を組み込んだ形で実施する。

|   |   |
|---|---|
| <p><b>◆23日</b><br/>9:00～9:20 Registration<br/>9:20～09:30 歓迎の挨拶：都市科学・防災研究センター 所長<br/><br/>09:30～11:30:<br/><b>Session 1：各都市における社会的弱者の現状と支援政策や実践経験の理解と共有（20分×4本）</b><br/>（20分×4本）【同時通訳：ハイブリッド】<br/><br/>11:30～13:30:<br/><b>Session 2：災害に強い都市とレジリエンス（20分×4本）</b>【同時通訳：ハイブリッド】<br/>会場：大阪公立大学学術情報総合センター文化交流室<br/>大阪市大阪市住吉区杉本 3-3-138（学術情報総合センター 1階）</p> | <p><b>Session 1:</b>各都市の実践経験を共有。各都市は、ホームレスや障がい者、寄せ場型地域、子どもの貧困、ヤングケアラー等をはじめとする社会的弱者への支援に向けた行政及び民間部門からの実践経験を報告し共有する場とする。<br/><b>Session 2:</b>東アジアの各都市は、自然災害、感染症、気候変動、社会資本の老朽化などのリスクに直面しており、都市のリスク・マネジメントやガバナンスのあり方の模索が求められる。国際社会では持続可能な開発目標 SDGs を各国が共有し、対策が進められているが、複雑化する都市のリスクに対して有機的かつ先を見越して対応するためには、絶え間なく都市の変化を分野横断的に把握し、的確に対応していく必要がある。各都市は、都市が直面した災害対応の試みやこれに係る人材育成、プラットフォーム形成事例や行政による関連施策の報告を行い、相互交流の場を設ける。</p> |
| <p><b>現地視察及び事例報告(16:30～18:00)</b><br/>（案内：多文化ふらっと＋生野区役所）<br/>報告：（30分×1本）および現地視察【逐次通訳】<br/>IKUNO コーライズパーク（旧御幸森小学校）<br/>多文化ふらっと、コリア NGO センター</p>  | <p>大阪市内の廃校となった学校校舎を活かした多文化共生の地域交流拠点形成の試みを視察し、事例報告を行う。</p>   |
| <p><b>◆24日</b><br/><b>現地視察及び事例報告②</b> 9:30～12:00<br/>報告：（30分×1本）および現地視察<br/>「八尾市における継承語支援の試みや地域共生の取り組みを学ぶ。」<br/>（案内：現地支援団体＋八尾市）</p>   | <p>八尾市における継承語支援の試みや地域共生の取り組みを学ぶ。</p>  |
| <p>歓迎の挨拶：包摂都市ネットワークジャパン代表<br/>会場：八尾市立安中人権コミュニティセンター<br/>14:00～16:00:<b>Session 3：都市におけるダイバーシティと難民・移住者等外国籍住民との共生の課題（20分×4本）</b>【逐次通訳】</p>  | <p><b>Session 3:</b>各都市におけるダイバーシティ施策の取り組みや民間支援の実践について報告し、交流の場を設ける。<br/>※各報告は10分(通訳含み20分)以内で報告する。</p>  |
| <p><b>◆25日</b><br/><b>現地視察及び事例報告③</b> 9:30～12:00<br/>報告：（30分×1本）および現地視察(堺市の事例：泉北ニュータウン)<br/>（案内：一般財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団：小学校跡地のコミュニティスペースの設置運営。みんなの公共冷蔵庫(食品ロス対策、生活困窮者への支援)の運用等</p>   | <p>泉北ニュータウンは、まちびらきから半世紀が経過した歴史ある郊外型住宅地であるが、若年人口の減少に加え、現在は高齢者の一人暮らしが増加しており、子どもの貧困、不登校、教育格差、自殺、ひきこもり、認知症、老老介護、買い物困難者などの社会的課題も散見され、こうした『社会的孤立』を解決するための実践が行われている。本セッションではその現場を視察して事例報告を行い、地域再生の課題を共同で模索する。</p>  |
| <p><b>Session 4: 14:00～16:00: 都市ネットワーク会議</b><br/>歓迎の挨拶：<br/>報告：（20分×6本）【同時通訳：ハイブリッド】<br/>報告者：ソウル市城東区、台北市、香港市、浜松市、大阪市生野区)<br/>会場：大阪公立大学中百舌鳥キャンパス A4棟 402室</p>  | <p><b>Session 4:</b>東アジア ICN ネットワークの構築に向けた各都市政府の期待と展望に関する都市代表者の発言と提言<br/><b>公正かつ多様性の尊重と誰も排除しない都市の形成に向けた共同宣言</b></p>   |
| <p><b>◆26日 インクルーシブシティ研究会・第2回年次研究大会【逐次通訳：ハイブリッド】</b><br/>会場：大阪公立大学杉本キャンパス学術情報センター1階文化交流室<br/>【1】10:00-12:00:、【2】13:00-16:00</p>  |   |